

## 3 経営の効率化

現行プラン記載事項	取組状況	課題	今後の取組・方向性
収益の確保			
①患者数の確保、新規患者の掘り起こし			
他の医療機関、福祉機関、自治体等の関係機関との連携強化	<p>○地域連携室の活動 H29年4月に、病院間の連携や入退院の支援・調整を担う地域連携室を全病院に設置。</p> <p>【江差】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各町発行の広報紙に総合診療医・新任医師の紹介や最新の医療機器記事を毎月掲載するとともに、医療機関等が参加する会議に出席し、内科（総合診療）の広報活動実施（H30・R1）。</li> </ul> <p>【羽幌】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の企業等に健診実施の働きかけを実施（H29）。</li> <li>周辺医療機関や福祉サービス事業者、周辺自治体と連携を図るため、ケアマネージャーや訪問看護師への訪問などを積極的に実施（H30）。</li> <li>地域包括支援センター訪問時や地域の退院支援連携会議において、フレイル外来やリハビリ入院について説明を行い、対象患者の掘り起こしに努めた（R1）。</li> </ul> <p>【緑ヶ丘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健所が開催する精神科訪問看護意見交換会に参加し、関係医療機関及び管内の訪問看護ステーションと現状と課題を共有し、当院からの患者の移行に当たって必要となる連携について検討を行った（R1）。</li> <li>医療機関からの患者紹介について、H29年10月から「紹介予約」の取組を開始し、問合せなどに対応（R1）。</li> <li>自立支援協議会の開催や保健所が開催する地域移行推進ワーキングに参加、周辺自治体が設置した医療・介護連携推進会議等に出席するなど、地域の医療機関・福祉施設との連携強化に努めた（H29、H30）。</li> <li>患者の地域移行を促進し、精神疾患を有する患者の在宅生活を支援するため、院内、院外を問わず患者等から生活相談、医療相談を受け付け、必要に応じて関係機関と連携を進めた（H29）。</li> </ul>	<p>◆地域連携室を中心として、他の医療機関や行政機関、介護サービス事業者と連携し、医療を担う立場から地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の支援を行っていくことが必要。</p> <p>◆他圏域の高度医療機関との連携により、自院に不足する医療機能を補うとともに、急性期治療後の回復期患者を可能な限り早期に受け入れられる体制の構築が必要。</p> <p>【向陽ヶ丘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H30年4月に兼務体制から専従体制へ改編し、周辺医療機関や福祉サービス事業者に周知を図るとともに、業務マニュアルを作成し、訪問活動を強化。</li> <li>関係機関向けの病院リーフレットをリニューアルし、地域の関係機関へ配布したほか、院外で行われる会議で、地域連携室の役割と外来受診の方法に関する説明を行った（R1）。</li> </ul> <p>【コドモックル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H29年とH30年は紹介元医療機関との連絡調整のほか、医療機関やサービス事業所の職員のスキルアップを目的とした道立施設専門支援事業及び地域療育支援事業を実施し、R元年は市町村等の関係職員を対象に専門支援事業等を38回の実施に加え、受入による研修を17回開催し、地域の関係機関との連携を図った。</li> </ul>	<p>○地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域連携室を中心に他の医療機関や介護サービス事業者等と一層の連携強化を図る。</p>
医療連携専門員などの活動を通じた多方面への健康診断・人間ドックの受託の推進	<p>○健康診断・人間ドックについては江差病院、羽幌病院で実施しており、羽幌病院は特定健診の受診を自治体等に働きかけを行ったことにより、健康診断の受診件数が増加傾向。</p> <p>・健康診断実績</p> <p>【江差】 H29:837件 H30:788件 R1:609件</p> <p>【羽幌】 H29:189件 H30:346件 R1:232件</p>	<p>◆新規患者の掘り起こしの観点から、地域連携室の活動などを通じて、健康診断や人間ドックの受託の働きかけに継続して取り組むことが必要。</p>	<p>○地域連携室の活動などを通じて、健康診断や人間ドックの受託促進に取り組む。</p>
地域の自治体・医療・福祉関係者や住民を対象とした講座や研修の開催、ホームページや広報誌等の各種媒体の活用などによる病院の広報活動の充実	<p>○広報活動（出前講座・地域公開講座の開催）</p> <p>【江差】 H29：子どもの健康セミナー4回 一般住民向け講演会（整形外科）1回 H30：医療講演会15回、R1：健康セミナー1回、糖尿病教室12回</p> <p>【北見】 H29：市民医療講座1回</p> <p>【羽幌】 H29：出前講座6回、 H30：出前講座3回、 R1：出前講座3回</p> <p>【向陽ヶ丘】 H29：出前講座1回、地域公開講座3回、H30：出前講座4回、 R1：出前講座16回、健康まつり3回、認知症の方を支える家族の集い2回、医療・介護者向け研修会2回</p> <p>【緑ヶ丘】 H29：地域公開講座6回 H30：地域公開講座6回</p>	<p>◆各病院で受けられる医療サービスや活動内容等について、住民にとって入手しやすく、かつ、わかりやすい情報を発信することにより、利用しやすい環境を構築することが必要。</p> <p>◆地域に根ざした病院となるため、市民講座や研修会の開催、地域のイベントへの参画や院内イベントの開催などを通じて、地域との交流を深め、病院への理解促進に努めることが必要。</p> <p>◆健康への関心を高め、病気の早期発見につなげるため、住民の意識の醸成を図ることが必要。</p>	<p>○市民講座や研修会の開催、地域のイベントへの参画などを通じて、住民が健康への関心を高め、病気の早期発見につなげることができるよう、意識の醸成を図る。</p> <p>○ホームページや広報誌等の各種媒体を有効に活用し、病院広報の充実を図る。</p>

現行プラン記載事項	取組状況	課題	今後の取組・方向性
	<p>R1：地域公開講座 6 回 【コドモックル】 H29：出前講座・公開講座 15 回、 H30：出前講座 18 回、 R1：地域連携セミナー 23 回</p> <p>○各病院の季刊誌等の発行 【緑ヶ丘】 みどり通信（緑ヶ丘病院広報委員会）治療の説明、職員紹介 グリーンレター（緑ヶ丘病院デイケア）利用者の声 【コドモックル】 ウキウキコドモックル（院外広報誌）職員、イベント紹介</p> <p>○地元の広報誌 【江差】 ・地域医療情報誌「リンクルみなみひやま」（江差保健所）医師からの医療の話、管内各町の広報誌 新任医師の紹介、導入した最新の医療機器 【羽幌】 ・折り鶴（地域医療を守る会）（羽幌町商工会）診療科、医師、地域連携室、イベントの紹介、羽幌町公報 地域連携室の紹介</p>	<p>○地域活動への参加状況 【羽幌】 ・住民組織の支援団体「折り鶴」との交流会への参加 【向陽ヶ丘】 ・地域の社会福祉協議会主催の健康まつり（網走市・斜里町・大空町）で認知症疾患医療センターの説明及び物忘れ外来受診方法の説明を行った。（R1） 【コドモックル】 ・道立施設専門支援事業及び地域療育支援事業（H29：49 回、H30：48 回、R1：38 回）や療育キャンプ（H29：3 回、H30：3 回、R1：4 回）実施のための調整を行うなど、医療・福祉機関、自治体等との連携を図った。 ・入院児童・保護者の生活体験の充実と地域住民との交流を目的とした夏祭り花火大会（夜店、盆踊り、花火）を毎年開催している。</p>	
<p>②病院が有する機能の有効活用</p> <p>高額医療機器の利用増や周辺医療機関との共同利用の推進</p>	<p>【江差病院】 ・医療機器の紹介のため近隣医療機関へ職員が訪問。 ・近隣医療機関を招いての画像検討会の実施。 ・ホームページや広報誌による高額医療機器のPR 【羽幌病院】 ・留萌の医療機関（整形外科）が高額医療機器の共同利用を行っている。</p>	<p>◆今後も設備投資に見合った効果を発揮するため、新規患者の掘り起こしや圏域での共同利用のさらなる推進を図ることが必要。</p> <p>◆道立病院の管理栄養士や理学療法士などの医療従事者を有効活用する観点から、多職種連携の協議や地元自治体の保健活動に積極的に参加するなど、地域の連携活動を通じた取組が必要。</p>	<p>○高額医療機器の利用増や周辺医療機関との共同利用を推進する。</p> <p>○地域の連携活動を通じて、道立病院の医療従事者の有効活用に努める。</p>
<p>③ 適切な診療報酬の獲得</p> <p>診療報酬請求に関する外部点検や、請求事務委託業者との意見交換の実施による請求漏れの改善及び診療報酬改定や、病院の機能見直し等に対応した新たな施設基準・加算取得の検討</p>	<p>○診療報酬請求の適正化対策委員会等の設置 各病院・センターにおいて、診療報酬請求の請求漏れや請求誤り等の防止の観点から、当該対策に組織的に取り組むため、H29 年度に各病院に委員会等を設置。 【効果額】 ・請求漏れ防止対策：+1,596 千円（R1 上）、+7,208 千円（H30） ・査定防止対策：+20 千円（R1 上）、+3,137 千円（H30） ○診療報酬請求の外部点検の実施 ・H29：診療報酬明細書精度調査の実施（江差・羽幌） ・H30：診療報酬明細書精度調査の実施（緑ヶ丘・向陽ヶ丘・コドモックル） ・R01：診療報酬明細書査定・返戻分析調査の実施（コドモックル）</p>	<p>◆日頃から各病院において取得済の施設基準を適切に管理するとともに、新たな基準や加算の取得、2 年毎に実施される診療報酬改定に対応するため、本庁、各病院の医事部門担当職員のレベルの維持・向上に取り組むことが必要。</p>	<p>○診療報酬に関する外部点検や請求事務委託業者との連携の強化による請求漏れの改善及び診療報酬改定、病院機能の見直し等に対応した新たな施設基準・加算取得の検討を進める。</p> <p>○新たな施設基準・加算の取得に向けて、院内の関係部門が連携しながら、研修会の開催など、医事部門の専門性の向上を図る。</p>

現行プラン記載事項	取組状況	課題	今後の取組・方向性
<p>④ 道立病院の利用促進に向けた取組の充実</p> <p>患者満足度調査結果を基にした患者サービスの向上</p>	<p>○患者満足度調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各病院で部門ごとに調査を実施し、その結果を院内で共有・掲示。</li> <li>前年度と比較し、満足度が低い項目を中心に改善可能なものから改善を行い、患者サービス・療養環境の向上に努めた。</li> <li>実施状況 H29：6病院、H30：5病院（北見病院除く） R1：4病院（北見病院除く）</li> </ul> <p>〈主な取組〉</p> <p>【江差】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人工膝関節手術を受ける患者への説明DVDの作成（H30）。</li> <li>正面外玄関での車椅子の乗降が不便という意見から、簡易乗降台を設置（R1）。</li> </ul> <p>【羽幌】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>案内表示板の文字を大きくして、見やすくするとともに、案内が必要な患者には看護師が付き添いを行った（H30）。</li> </ul> <p>【緑ヶ丘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新外来患者の呼び出しが聞き取りにくいとの意見があり、スピーカーを新設し、呼び出しが聞き取りやすいよう対応（H29）。</li> <li>外来にエアコンを設置し、診療待ち患者の環境改善を図った（H30）。</li> <li>待ち時間の負担を縮減するため、精神疾患に関する学習用のDVDとプレイヤーを貸し出し、診察までの待ち時間を利用して病気について学べるようにした（R1）。</li> </ul>	<p>◆今後も患者満足度調査・病院食嗜好調査を実施し、結果に応じた改善策を講じるなどして、患者サービス・療養環境の向上に取り組んでいく。</p> <p>◆地域ニーズの把握により、通院環境の改善、向上を図る取組を検討することが必要。</p> <p>【向陽ヶ丘】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護部門において、満足度が目標数値（独自設定）より低かったことから、改めて接遇項目の自己チェックを2回実施（H29）。</li> <li>朝の診察前に職員数名が外来ロビーに整列し、あいさつや自己紹介のほか、相談窓口の周知や担当業務の説明などを開始（H30）。</li> <li>外来、デイケア、3階開放病棟のトイレに便座クリーナーを設置し、トイレの使用環境を改善（R1）。</li> </ul> <p>【コドモックル】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駐車場に関し、「狭い」「業者による駐車がある」等の意見があり、駐車場の見回りや青空駐車場の案内等を行った（H29）。</li> </ul> <p>○病院食嗜好調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート及び聞き取り調査を行い、患者満足度の向上につなげている。</li> <li>実施状況：H29：4病院、H30：5病院（北見病院除く）、R1：5病院（北見病院除く）</li> </ul> <p>【江差】 祝祭日がない月における病院独自の特別メニューの実施。</p> <p>【緑ヶ丘】 道産食材を用いた地産地消メニュー。</p> <p>【コドモックル】 病院食人気レシピの提供、産後に「ねぎらい膳」を提供。</p>	<p>○患者満足度調査・病院食嗜好調査を実施し、患者サービス、療養環境の向上を図る。</p> <p>○各病院における関係機関との連携活動を通じて把握した地域のニーズを病院運営に反映し、患者や家族にとって、利用しやすい環境となるよう検討する。</p>
<p>各病院の機能や役割に関する住民理解の促進</p>	<p>・P1-2 「地域の自治体・医療・福祉関係者や住民を対象とした講座や研修の開催、ホームページや広報誌等の各種媒体の活用などによる病院の広報活動の充実」と同</p>	<p>・P1-2 「地域の自治体・医療・福祉関係者や住民を対象とした講座や研修の開催、ホームページや広報誌等の各種媒体の活用などによる病院の広報活動の充実」と同</p>	<p>○ホームページや広報誌等の各種媒体を有効に活用し、病院広報の充実を図り、各病院の機能や役割に関する住民理解を促進する。</p>
<p>費用の縮減</p> <p>○無駄のない適正な管理経費の執行による医業費用の節減</p>	<p>○スケールメリットを生かした本庁一括契約の継続実施（医事業務、重油、医薬品339品目、医療材料44品目、医師事務、院内保育）</p> <p>○療養環境に配慮した各病院における光熱水費の節減（江差病院におけるLED照明の導入、間引き照明の実施）</p> <p>○電力の小売全面自由化を踏まえた新電力導入（全病院）</p> <p>○患者給食業務や医療機器の購入と保守業務の一体化入札など契約内容及び事務の検討・改善</p>	<p>◆今後も無駄のない適正な管理経費の執行に努め、費用の縮減を図ることが必要。</p>	<p>○無駄のない適正な管理経費の執行による医業費用の節減を図る。</p>



現行プラン記載事項	取組状況	課題	今後の取組・方向性																																																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果や必要性、機器導入後の保守も見据えた医療機器等の整備</li> <li>○患者負担の軽減、費用の縮減に結びつく後発医薬品の採用拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調達と保守契約の一体化入札の試行（R1、羽幌）</li> <li>○後発医薬品の使用状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015」を参考に各病院に設定した目標値は、コドモックル以外は既に達成している状況。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="608 464 1418 653"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H29年度</th> <th colspan="2">H30年度</th> <th colspan="2">R元年度</th> <th>R2年度</th> </tr> <tr> <th>プラン目標</th> <th>実績</th> <th>プラン目標</th> <th>実績</th> <th>プラン目標</th> <th>実績</th> <th>プラン目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江差</td> <td>76.0</td> <td>81.8</td> <td>78.0</td> <td>87.8</td> <td>80.0</td> <td>87.8</td> <td>82.0</td> </tr> <tr> <td>北見</td> <td>72.0</td> <td>80.1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>羽幌</td> <td>78.0</td> <td>82.1</td> <td>80.0</td> <td>86.7</td> <td>82.0</td> <td>90.9</td> <td>84.0</td> </tr> <tr> <td>緑ヶ丘</td> <td>70.0</td> <td>73.7</td> <td>72.0</td> <td>78.3</td> <td>74.0</td> <td>82.1</td> <td>76.0</td> </tr> <tr> <td>向陽ヶ丘</td> <td>67.0</td> <td>75.7</td> <td>70.0</td> <td>85.3</td> <td>72.0</td> <td>89.6</td> <td>74.0</td> </tr> <tr> <td>コドモックル</td> <td>72.0</td> <td>75.5</td> <td>74.0</td> <td>68.9</td> <td>77.0</td> <td>72.3</td> <td>80.0</td> </tr> </tbody> </table> </li> <li>○情報の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各病院では、医薬品の使用実績データを活用しながら、薬事委員会で検討を行い、後発医薬品への積極的な切替えを行った。</li> </ul> </li> </ul>		H29年度		H30年度		R元年度		R2年度	プラン目標	実績	プラン目標	実績	プラン目標	実績	プラン目標	江差	76.0	81.8	78.0	87.8	80.0	87.8	82.0	北見	72.0	80.1						羽幌	78.0	82.1	80.0	86.7	82.0	90.9	84.0	緑ヶ丘	70.0	73.7	72.0	78.3	74.0	82.1	76.0	向陽ヶ丘	67.0	75.7	70.0	85.3	72.0	89.6	74.0	コドモックル	72.0	75.5	74.0	68.9	77.0	72.3	80.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆患者負担の軽減や費用の縮減を図るため、国の「経済財政運営と改革の基本方針」で設定した目標値を参考としながら、治療に影響のない範囲で後発医薬品の採用拡大を進めることが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○費用対効果や必要性、機器導入後の保守も見据え、医療機器等の整備を行う。</li> <li>○患者負担の軽減、費用の縮減に結びつく後発医薬品の採用拡大に努める。</li> </ul>
	H29年度		H30年度		R元年度		R2年度																																																											
	プラン目標	実績	プラン目標	実績	プラン目標	実績	プラン目標																																																											
江差	76.0	81.8	78.0	87.8	80.0	87.8	82.0																																																											
北見	72.0	80.1																																																																
羽幌	78.0	82.1	80.0	86.7	82.0	90.9	84.0																																																											
緑ヶ丘	70.0	73.7	72.0	78.3	74.0	82.1	76.0																																																											
向陽ヶ丘	67.0	75.7	70.0	85.3	72.0	89.6	74.0																																																											
コドモックル	72.0	75.5	74.0	68.9	77.0	72.3	80.0																																																											
<b>経営基盤の強化</b>																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療機能維持に必要な医師等医療従事者の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医育大学への医師派遣要請活動</li> <li>○医学生や初期臨床研修医の地域医療実習・研修の受入</li> <li>○専門研修プログラムの整備・運用</li> <li>○道内外の看護師養成校訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医療提供を支える人材を確保するための取組の継続が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療機能維持に必要な医師等医療従事者の確保に努める。</li> </ul>																																																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院経営に精通した人材の育成、登用の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体病院の事務長等を歴任し、病院事務に精通した者を経営改革推進指導官（非常勤）として採用。</li> <li>○北海道厚生局との人事交流</li> <li>○公的病院を運営する団体への派遣経験者を管理職に配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事務職員等については、全てを知事部局からの出向に頼っている状況にあることから、病院経営に精通した、将来にわたり病院運営の中核を担う人材の育成が必要。</li> <li>【再掲】2 経営形態の見直し「医療環境の変化に柔軟に対応～」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自治体病院等との派遣交流などを通じた病院経営に精通する職員の育成について検討を進める。</li> <li>【再掲】2 経営形態の見直し「医療環境の変化に柔軟に対応～」</li> </ul>																																																															
<b>職員の経営改革意識の向上</b>																																																																		
<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理者による経営方針の徹底と職員への経営情報の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理者が各病院を訪問し、病院職員一人一人に経営方針を徹底。</li> <li>○各病院の院長、総看護師長、事務長で構成する「経営推進会議」を4回開催し、経営状況について情報共有を図っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆引き続き経営方針の徹底及び職員との経営情報の共有を図る必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管理者による経営方針の徹底と職員への経営情報の共有を図る。</li> </ul>																																																															
<ul style="list-style-type: none"> <li>○経営改革の実現に向けて、職員の士気や意欲を高める取組の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○平成30年度より経営改善に資する取組に対する表彰を実施（好事例の表彰とインセンティブの付与）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆医療の質を上げるとともに、患者サービスを向上することができるよう、職員のモチベーションを高める取組を進めることが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○病院事業の運営向上に向けた職員表彰の実施など、職員のモチベーションを高める取組を進める。</li> </ul>																																																															